

団体名	特定非営利活動法人 湘南まぜこぜ計画
企画名	寺子屋ハウスと「未来食堂」提携への基盤強化事業
補助金額	300,000円

### 企画の目的

仕事や病気などの事情で子どもと一緒に食事が出来ない子育て家庭を地域で応援する「未来食堂」との提携に向けた広報等の強化

### 主な内容と成果

#### ・「未来食堂」の実施と提携店の拡大

食事の提供を必要としている子どもへの提供実施ができた。その経験から、スタッフの研修、基本姿勢の確認、意識の共有を図った。また、提携店及び食材提供ルートについて、飲食店9店、食材おやつ提供者8店に拡大することができた。

#### ・シンポジウムの実施及び支援者合同ヒアリングの実施

シンポジウム「子どもの居場所」それってどんな場所！？を実施した。事前告知にチラシを配布し、約50名参加し、結果、会員が4名拡大し、うち2名はレギュラースタッフとなった。また、子どもの貧困についての実態調査に対して合同ヒアリングを実施し、調査内容の検討を重ねた。

- ・松本市「子どもの居場所づくり推進事業」の視察
- ・特定非営利活動法人の設立（2018年9月5日認証）
- ・協力企業からの寄付獲得

「未来食堂」に関わる支援獲得により、寺子屋においても食事提供の試行検討を行った。

#### ・ホームページ作成

子どもの居場所への参加者や見学者などが増加し、経験値を上げて基盤の強化につながった。



作成・配布したチラシ（左）やホームページ（右）の立ち上げにより、子どもの居場所への参加者や見学者が増加

### 反省点・課題など

- ・シンポジウムへの参加を学生に呼びかける時間を作れずに、学生、若者へのアプローチが十分にできなかった。
- ・「未来食堂」提携店だけでなく、子どもの居場所で夏休み寺子屋ハウス「夕食会」が拡大できる条件整備をどのように進めていくかが課題。
- ・活動現場に参加している会員と参加できない会員との情報の共有、目的の再確認が不断に必要であり、基本的な体制の構築がまだできていない。